

Istanbul Weekly vol.6-no.31

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年9月8日（金）

— 今週のポイント —

政治：新たな学習指導要領が明らかに。

トルコ、ミャンマーのイスラム教徒を巡る問題解決に向けた働きかけを強化。

経済：TIM、トルコの輸出額は着実に増加と発表。

年間インフレ率、再び2桁台の10.68%に。

治安：8月中、トルコ国内でISIL容疑者268名を拘束。

警察がメルスィン県の警察署に対する攻撃を企図していたISIL自爆テロ犯を射殺。

軍事：世界の軍事力7位に日本、8位にトルコがランクイン。

社会：禁漁明け初の漁で600箱分のアジとサバを水揚げ。

連休中の交通事故死者数122人。

政治

【内政】

●シリア人難民児童に対するトルコ語教育の必修化

国家教育省は、シリア人難民の児童に対し、公立学校入学及びトルコ語のカリキュラムに従った教育を義務化することを明らかにした。現在83万3,039人のシリア人難民児童のうち、49万2,544人が公立学校でトルコ語による教育を受けている。（9月3日付H紙13面）



（写真は9月3日付H紙インターネット版から）

●新たな学習指導要領が明らかに

国家教育省による学習指導要領の改訂内容が一部明らかになった。全国の高校の選択科目「基礎の宗教知識」の教科書において、ジハードはイスラムにおける重要な信仰と説明されている一方、イマーム・ハティップ校（宗職者養成校）の教科書におけるジハードは、アッラーのために闘うことであると強調されている。また、今回の改訂により小学校1年生の音楽の教科書からアタテュルク初代大統領を讃える歌が掲載されなくなったことも注目された。（9月4日付M紙16面他）

【外交】

●エルドアン大統領、米国のトルコ側警護官に対する起訴に反発

1日、エルドアン大統領は、5月のエルドアン大統領訪米の

際、両国の警護官間で発生した衝突事件について、米国当局がトルコ側警護官を起訴したことに対し、本件は米国で正義がどのように機能しているのかを示した醜聞であり、米国が何をしたいのか理解に苦しむと批判した。（9月2日付M紙14面）

●トルコ、ミャンマーのイスラム教徒を巡る問題解決に向けた働きかけを強化

5日、エルドアン大統領は、アウン・サン・スー・チー・ミャンマー国家最高顧問と電話会談し、ラカイン州のイスラム教徒に対する人権侵害は、もはや国際的な課題になったと指摘した。また、6日には、エミネ・エルドアン大統領夫人及び子息のビラル・エルドアン氏の出席の下、トルコ協力発展機構(TIKA)によるラカイン州避難民に対する支援物資の引渡式典が実施された。（9月7日付M紙14面）



（写真は9月5日付M紙インターネット版から）

●トルコ、北イラクのクルド地域政府の住民投票実施に反対の姿勢

北イラクのクルド地域政府が独立の是非を問うため25日に実施することが予定されている住民投票に関し、ユルドウルム首相は、住民投票の実施によって新たな問題が発生すること、北イラクのクルド自治区と周辺諸国双方にとり利益にならないと発言し、住民投票に反対の姿勢を示した。（9月6日付M紙14面）

●独政府のトルコへの批判に対するトルコの反発

独総選挙を控えた 4 日の独テレビ討論で、メルケル独首相とシュルツ・ドイツ社会民主党 (SPD) 党首がトルコの EU 加盟交渉を中断させるべきである等トルコを批判したことに対し、チャヴシュオール外相は、「トルコの他に自国民へ発信すべきメッセージはないのか。」と批判した。また、カルン大統領府報道官も、独の政治は、単にポピュリズムや人種差別主義を増幅させているだけだと非難した。(9 月 5 日付 M 紙 15 面)

経済

【マクロ経済】

●TIM、トルコの輸出額は着実に増加と発表

1 日、トルコ輸出業者組合 (TIM) は、今年 1 月から 8 月までの輸出額は 1,025 億ドル、過去 12 か月間の輸出は 1,518 億ドルであったと発表した。また、ビュユケシク TIM 会長は、2016 年 11 月以降、輸出は着実に増加しており、本年末までに 1,550 億ドルに達する見込みと述べた。なお、8 月は自動車部門の輸出額が 18 億ドルと最も好調であり、続いて衣料品が 17 億ドル、化学製品が 15 億ドルであった。(9 月 1 日付 HDN 紙インターネット版)

●年間インフレ率、再び 2 桁台の 10.68%に

5 日、トルコ統計庁は、自動車、石油及び LPG の価格上昇が主要因となり、8 月のトルコの年間インフレ率は 10.68%に達し、再び 2 桁台の値となったと発表した。また、8 月の月間インフレ率は対前月比 0.52%上昇し、予想を上回った。(9 月 6 日付 HDN 紙 1 面)

●8 月の PMI は 55.3 ポイントで過去 6 年間で最高水準

5 日、IHS Markit は、最新のトルコの製造業購買担当者指数 (PMI) 調査のデータにおいて、8 月に過去 6 年間でトルコの製造業の生産状況が最も改善したことが示され、2011 年 3 月以来最高水準の 55.3 ポイント (本年 7 月の 53.6 ポイントからも 1.7 ポイント上昇) となったと発表した。(9 月 6 日付 HDN 紙 1 面)

●世界銀行、トルコへの新たな融資の枠組を発表

世界銀行とトルコは、大規模な融資を行うための「新国家パートナーシップ・フレームワーク (CPF)」を導入することを発表した。2018 年から 2021 年までの CPF では、①成長、②包括性、③持続可能性の 3 つの重点分野への投資に焦点が当てられる。また、5 日、財務省は、新たな CPF により 5 年間で総額 5.75 億ドルの資金調達を計画していると発表した。(9 月 7 日付 HDN 紙 10 面)

【経済外交】

●シムシェッキ副首相:ドイツはトルコを関税同盟から「追放」できない

5 日、シムシェッキ副首相は、ドイツはトルコを関税同盟から「追放」することはできない、EU の多くの加盟国は常識をもって行動すると考えていると述べた。最近の EU・トルコ間の政治的緊張の影響により、先月、メルケル独首相は、EU はトルコと関税同盟の更新に係る協議を行わないと発言していた。(9 月 7 日付 HDN 紙 10 面)

【農業】

●今シーズンのヘーゼルナッツ、輸出量、価格共に下落

5 日、ヘーゼルナッツ輸出協会は、トルコが過去 12 か月間に 23.5 万トン以上のヘーゼルナッツを輸出し、約 18.8 億ドルの利益を上げたを発表した。関係者によれば、2016 年 9 月 1 日から 2017 年 8 月 31 日までの 1 年間で、その前年の同時期の輸出量から 5.6%減少し、価格も 17.4%下落した。(9 月 6 日付 HDN 紙 11 面)



(写真は 9 月 5 日付 HDN 紙インターネット版から)

【企業の動き】

●キバル・ホールディング、トルコのヒュンダイ・アッサンの工場で第 3 の車種の生産を計画

5 日、トルコの財閥系企業である「キバル・ホールディング (Kibar Holding)」のアリ・キバル会長は、ヒュンダイ・アッサン (当館注: キバル・ホールディングとヒュンダイとの合弁会社) の工場第 3 の車種の生産を計画していると述べた。ヒュンダイの i10 モデル及び i20 モデルは、トルコ及びヨーロッパ市場向けに、そのほとんどがトルコの工場生産されており、年間生産台数は 24.5 万台に上る。(9 月 7 日付 HDN 紙 11 面)

【観光】

●アンタルヤへの外国観光客数が増加

今年 1 月から 8 月までの期間に約 750 万人の観光客がアンタルヤを訪れた。2016 年には、ロシアとの関係悪化の影響もあり、アンタルヤを訪れた観光客は 640 万人に留まったが、最近の両国の関係正常化に伴い、ロシア人だけで今年 1 月から 8 月までに 260 万人以上が訪れ、対前年同期比 2.536%増となった。これにより、ロシアは再びアンタルヤへの観光客 33%のシェアでトップに返り咲いた。(9 月 7 日付 HDN 紙他)



(写真は 9 月 6 日付 HDN 紙インターネット版から)

【その他】

●イスタンブールで民泊の不法使用に罰金

イスタンブール市の観光当局によると、イスタンブールでは、最近、不法な民泊が増えており、これらの民泊に対して今年 1 月から 8 月 15 日までに合計約 1,000 万トルコ・リラの罰金が科された。このような民泊は、不法売春に利用される等、イスタンブールの大規模な地下経済の一部となっているほか、テロ容疑者の潜伏先として、セキュリティ上の問題となっている。(9 月 5 日付 HDN 紙 11 面)



(写真は9月4日付 HDN 紙インターネット版から)

●アルコール飲料の税金高騰で、自宅でのアルコール飲料製造のためのエチルアルコールの販売が急増

アルコールの税金の上昇に伴い、自宅でのアルコール飲料製造のためのエチルアルコール販売が急増している。現在、アルコール飲料の税金は、ラクの 70cl 瓶について価格の約 3 分の 2 を占めており、2006 年と比べて税率が 265% 上昇した。(9 月 7 日付 HDN 紙 11 面)

治安

【ISIL 関係】

●8 月中、トルコ国内で ISIL 容疑者 268 名を拘束

アナトリア通信によると、今年 8 月の 1 か月間で、トルコ国内では治安部隊によって ISIL 容疑者 268 名が拘束され、48 名が逮捕された。拘束者には、多くの外国人が含まれており、複数のテロ攻撃が阻止された。国内において対 ISIL オペレーションが進められている一方、国境での不法越境防止対策はテロ攻撃の阻止に結びついている。(9 月 4 日付 HDN インターネット版)

●警察がトルコ南東部のメルスィン県で警察署に対する攻撃を企図した ISIL 自爆テロ犯を射殺

6 日、警察は、トルコ南東部のメルスィン県の MIT 拠点付近の警察署に対する攻撃を企図していた ISIL の自爆テロ犯と見られる容疑者 1 名を射殺し、自爆ベストを押収した。同容疑者は、警察署付近を歩行中、警察官による停止命令を拒否し、肩から垂れ下がっていたケーブルに手を掛けたところで射撃された。(9 月 6 日付 HDN インターネット版)



(写真は9月6日付 HDN インターネット版から)

【PKK 関係】

●8 月中、PKK 戦闘員 176 名を殺害

トルコ治安当局は、今年 8 月中の 1 か月間で対 PKK オペレーションにより、PKK 戦闘員 176 名を殺害、548 名を拘束、138 名を拘留し、シェルター、洞窟及び武器庫 35 か所を破壊し、手製爆弾 62 個を撤去、ライフル 70 丁、対戦車砲 2 台を押収したとの成果を発表した。(9 月 2 日付 HDN インターネット版)

●ソイル内務相:冬期も対 PKK オペレーションを継続

2 日、ソイル内相は、冬期も PKK に対する大規模オペレーションを継続するとし、「無人ドローンによる警戒は、集団でのテロ組織の動きの抑止になっている。我々は、地上でも広く展開しており、9 月から 11 月までの期間には、テロ対策がよりハイレベルになると期待している。」と述べた。(9 月 3 日付 HDN インターネット版)

【その他】

●内務省が週間治安統計を発表

4 日の内務省の発表によると、治安当局は、過去 1 週間の対 PKK オペレーションで、戦闘員 43 名を無力化(殺害 27 名、逮捕 6 名、投降 10 名)し、ドローン 1 台、銃 16 丁、爆発物原料 470 キロ、手榴弾 9 個、弾薬を押収、シェルター 9 個を破壊した。また、75 県において、薬物及び密輸取締りオペレーションを 2,032 回実施し、2,764 名を拘束、マリファナ 1,582 キロ、ヘロ

イン 150 キロ、ボンザイ 2.2 キロ、メタンフェタミン 8 キロ、合成麻薬 23 万 4,469 錠、密輸タバコ 51 万 8,443 本等を押収した。(9 月 4 日付 HDN インターネット版)

●イスタンブールのウムラニエ区で銃撃戦が発生

5 日、イスタンブール市ウムラニエ区において学校の通学バスを運営する異なる会社の従業員同士が口論になり、銃撃戦に発展して、1 名が死亡、2 名が負傷した。6 日、警察は、この事件に関連して容疑者 8 名を拘束した。(9 月 6 日付 HDN インターネット版)



(写真は9月6日付 HDN インターネット版から)

●アール県でトルコ・イラン国境沿いに鋼製ケーブルを敷設していたイラン人 3 名を逮捕

5 日、ジャンダルマは、アール県において、トルコとイランの国境沿いに 3,000 メートルにわたって鋼製ケーブルを敷設していたイラン人 3 名を拘束した。同 3 名はテロ組織のメンバーであると見られている。(9 月 5 日付 HDN インターネット版)

●イスタンブール検察がチェチェン司令官殺人事件被疑者のロシア人 3 名に懲役 37 年を求刑

7 日、イスタンブール検察庁の検察官は、2015 年にイスタンブールのバジャクシェヒル区でチェチェン人司令官が殺害された事件に関し、スパイ活動や暗殺への関与が疑われるロシア人 3 名に懲役 37 年を求刑した。起訴状によると、同 3 名は、2015 年 10 月、チェチェン人司令官の所在についての情報を入手し、同人を殺害するためにトルコに入国した。(9 月 7 日付 HDN インターネット版)



(写真は9月7日付 HDN インターネット版から)

●イスタンブールのアタキョイ区で発砲事件

6 日、イスタンブールのアタキョイ区において、検察官を父に持つ容疑者が公園で交際相手と口論となり、周囲にいた人々から咎められた後、自宅に戻り、同人たちに向けて 7 階の部屋からショットガンを発砲した。2 名が負傷し、同容疑者は、警察に逮捕された。(9 月 7 日付 M 紙 11 面)

【軍事】

●世界の軍事力ランキング:日本 7 位、トルコ 8 位

軍事分析会社グローバルファイヤーパワーは世界 113 か国の武器総量、地理的特性、天然資源等 50 以上の要素を分析して軍事力ランキングを発表し、トルコは 8 位にランクインした。同ランキングによると、トルコの軍事的マンパワーは、4,160 万人であり、徴兵可能者は 3,500 万人、徴兵従事者は 130 万人であ

る。トルコ国内の兵士は、74万3,415名であり、38万2,850名が軍務従事中、36万565名が予備兵となっている。航空機総数1,018機、総船艇数194艇のほか、戦車2,445台、装甲車7,550台等を所有している。国防予算は82億ドル。同ランキングでは、1位米国、2位ロシア、3位中国、4位インド、5位フランス、6位英国、7位日本となっている。(9月1日付HDNインターネット版)

社会

●犠牲祭の光景変わらず

毎年、犠牲祭の時期にイスタンブールで見られる光景は、今年も変わらなかった。ウスキュダル区とその周辺地区で羊が処理された後、下水道を通して流れ出した「生贄(いけにえ)」の血は、今年もボスフォラス海峡を真っ赤に染めた。(9月1日付 HABERLER.COM)



(写真は9月1日付 HABERLER.COM から)

●プリンセス諸島:死に向かって走る馬車馬

トルコ各地の観光名所の馬車馬たちは、劣悪な環境の中で働かされており、イスタンブールのプリンセス諸島だけでも年間400頭が犠牲になっている。このような事態を受け、最近、動物愛好家たちは、インターネット上で「馬のために馬車に乗らないで」と呼びかける署名活動を始めた。(9月4日付 M 紙インターネット版)

●禁漁明け初の漁で600箱分のアジとサバを水揚げ

今年は禁漁明けの9月1日が犠牲祭と重なったことから、漁師たちは例年より3日遅れで5か月ぶりに漁に出た。アジ500箱とサバ100箱がベイリクデズ区ギュルプナルの魚市場に卸された。漁師たちによると今年は豊漁が期待され、新鮮で安価な魚が市民の食卓に上りそうだと。(9月5日付 HT 紙19面他)

●アラブ人観光客押し寄せる

今年の犠牲祭の大型連休では、トルコ人の多くがビーチ・リゾートで過ごした一方で、イスタンブールの歴史地区にはアラブ人観光客が押し寄せた。一昨年前まではヨーロッパからの観光客が多かった同地区であるが、昨年発生した爆弾テロの影響もあって観光客の足は遠のいていた。しかし、今年になってスルタンアフメット地区のホテルは満室となり、80%はアラブ諸国からの観光客が占めている。(9月5日付 H 紙8面他)

●連休中の交通事故死者数122人

内務省は、8月30日から9月4日までの6日間に全国で122人が交通事故で死亡したと発表した。事故数自体は、今年の犠牲祭の連休と比べると約15%減少した。また、107万3千86台の車両が駐車違反等で牽引され、17万895人に罰金が科せられた。(9月6日付 H 紙2面他)

●健康を脅かす偽造化粧品

ディスカウント・ストアやオンラインで販売されている偽造化粧品等が消費者の健康を脅かしている。偽造品は市場の約10%を占めるが、中には発がん性物質やアレルギーを引き起こす

成分を含んでいるものもあり、アクユズ・イスタンブール化学用品輸出協会代表は、「オンライン販売については規制が無く、オリジナル商品の写真を載せ、消費者には偽造品を送ることが横行している。」として、保健省による早急な規制を求めた。(9月6日付 HDN 紙2面他)

●保護施設の動物、連休中に死ぬ

4日、NTV は国内の一部の地方自治体が運営する動物保護施設の動物が、大型連休中に死亡していたことを報じた。職員が十分なエサと水を与えず、長期の休暇中に放置したことが原因とみられる。動物愛護団体のアスラン代表は、動物の権利を侵害した者は法的制裁を受けるべきだと主張し、そのような動物保護施設を提訴すると話した。(9月6日付 HDN 紙2面他)

●サバ、マルマラ海に戻ってくる

禁漁期間明けに漁師たちを待っていたのは40年ぶりのサバの豊漁だった。サバはかつての乱獲でマルマラ海から姿を消していた。サバ1キロの価格は20リラで犠牲祭直後のため現在の売れ行きは低調。(9月7日付 HDN 紙2面他)



(写真は9月7日付 HDN 紙インターネット版から)

●危険を伴う若者の海の乗り物の使用

ジェット・スキーやモーター・ボートを使用する若者が、他の観光客の安全を脅かしている。ユルマズ・ボドルム・ウォータースポーツ協会代表は、これらの乗り物を若者や子供が使用することについて注意を呼びかけている。現在トルコでは、保護者の許可の下、14歳からアマチュア船舶免許の取得が可能であるが、7歳の子供がスピード・ボートを使用する姿が目撃されるなど問題となっている。(9月7日付 HDN 紙2面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事務総局	OSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党(親中党)	OB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党(クルド族党)	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運輸・建設方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党(最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ規制機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党(親中)	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TODD	トルコ国統
DTP	民主社会党	TQHB	トルコ審判員協会
DYP	正義党	TESK	トルコ産業労働連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党(クルド族党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築家協会の連盟
HSYK	銀行家・株主等委員会	TOKİ	トルコ資金住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	取水競争事
İHH	人権・自由・人権支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会館	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İSİD	イラク・レバントのイスラム国(アルカイダ系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油株式会社
KCK	クルディスタン共産主義同盟(PKK系)	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YOK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党(野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞	英字新聞
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA				
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP				
Habertürk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA				
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA				
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA				
Posta	P			Interpress	IP				
Radikal	R								
Sabah	S								
Taraf	T								
Vatan	V								
Zaman	Z								

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.9.7 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗	詐欺	詐欺	詐欺	詐欺	詐欺	高額絨毯購入(相談)	高額絨毯購入(相談)
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	6件	0件	0件	0件	11件	0件	0件

★当館 HP 更新のお知らせ★

●平成 30 年度前期用教科書の無償配布の取り纏めについて (09/07) **NEW**

●平成 30 年度入学日本人学校説明会について (08/29) **NEW**